

パネルディスカッション

各社へのインタビューでわかった “組織事故抑制の観点”からの人事施策

組織で働く人間が引き起こす不正・事故対応WG

2019年6月12日

パネルディスカッションのメンバー

パネリスト

- ・ 辻井 葉子 (リコージャパン株式会社)
- ・ 野津 秀穂 (大日本印刷株式会社)
- ・ 油井 秀人 (富士通エフ・アイ・ピー株式会社)
- ・ 岩本 信太郎 (EDGE株式会社)
- ・ 甘利 康文 (WGリーダー、セコム株式会社)

モデレーター

- ・ 武田 一城 (株式会社ラック)

自己紹介①

パネリスト

・辻井 葉子（リコージャパン株式会社）

- ・野津 秀穂（大日本印刷株式会社）
- ・油井 秀人（富士通エフ・アイ・ピー株式会社）
- ・岩本 信太郎（EDGE株式会社）
- ・甘利 康文（WGリーダー、セコム株式会社）

モデレーター

- ・武田 一城（株式会社ラック）

自己紹介②

パネリスト

- ・ 辻井 葉子 (リコージャパン株式会社)

- ・ **野津 秀穂** (大日本印刷株式会社)

- ・ 油井 秀人 (富士通エフ・アイ・ピー株式会社)

- ・ 岩本 信太郎 (EDGE株式会社)

- ・ 甘利 康文 (WGリーダー、セコム株式会社)

モデレーター

- ・ 武田 一城 (株式会社ラック)

自己紹介③

パネリスト

- ・ 辻井 葉子 (リコージャパン株式会社)
- ・ 野津 秀穂 (大日本印刷株式会社)
- ・ **油井 秀人** (富士通エフ・アイ・ピー株式会社)
- ・ 岩本 信太郎 (EDGE株式会社)
- ・ 甘利 康文 (WGリーダー、セコム株式会社)

モデレーター

- ・ 武田 一城 (株式会社ラック)

自己紹介④

パネリスト

- ・ 辻井 葉子 (リコージャパン株式会社)
- ・ 野津 秀穂 (大日本印刷株式会社)
- ・ 油井 秀人 (富士通エフ・アイ・ピー株式会社)

・ **岩本 信太郎** (EDGE株式会社)

- ・ 甘利 康文 (WGリーダー、セコム株式会社)

モデレーター

- ・ 武田 一城 (株式会社ラック)

自己紹介⑤

パネリスト

- ・ 辻井 葉子 (リコージャパン株式会社)
- ・ 野津 秀穂 (大日本印刷株式会社)
- ・ 油井 秀人 (富士通エフ・アイ・ピー株式会社)
- ・ 岩本 信太郎 (EDGE株式会社)

・ **甘利 康文** (WGリーダー、セコム株式会社)

モデレーター

- ・ 武田 一城 (株式会社ラック)

自己紹介(おまけ)

モデレーター

- ・ 武田 一城 (株式会社ラック)

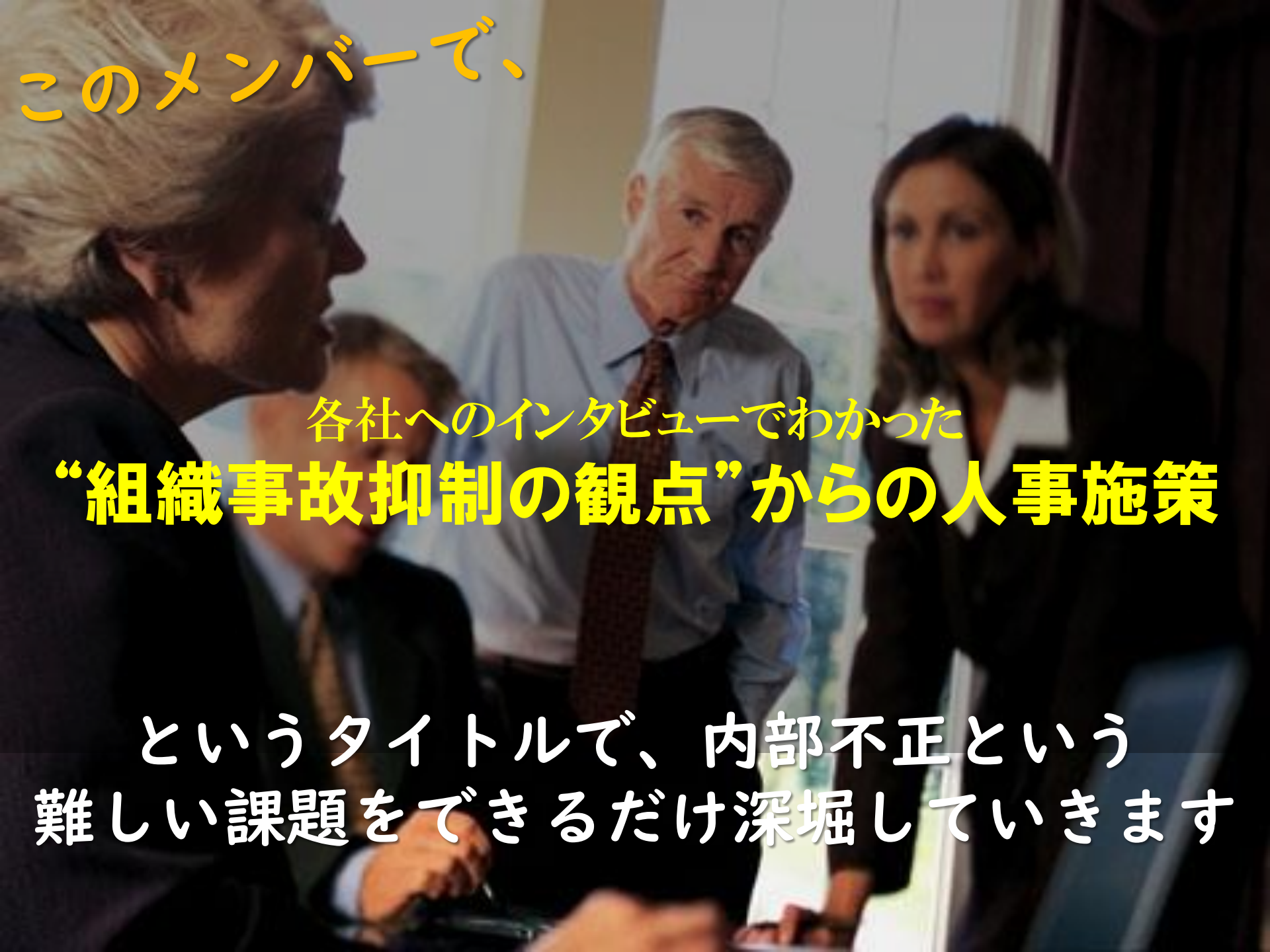
何やってるかわからないとよく言われるので
**わかりやすく1枚で
表現してみました**

珍しいタイプの社畜です。



さて

(事故紹介が終わったので本題に戻ります)

A blurred background image of a business meeting. In the foreground, a man with grey hair is seen in profile, looking towards the right. Behind him, another man in a light blue shirt and tie is looking forward. To the right, a woman with dark hair is also looking forward. They appear to be in a professional setting, possibly a conference room.

このメンバーで、

各社へのインタビューでわかった
“組織事故抑制の観点”からの人事施策

というタイトルで、内部不正という
難しい課題をできるだけ深堀していきます

なお

このWGでは

内部不正対策

を、もう何年も調査しています

内部不正対策 14の論点

特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)
組織で働く人間が引き起こす不正・事故対応ワーキンググループ

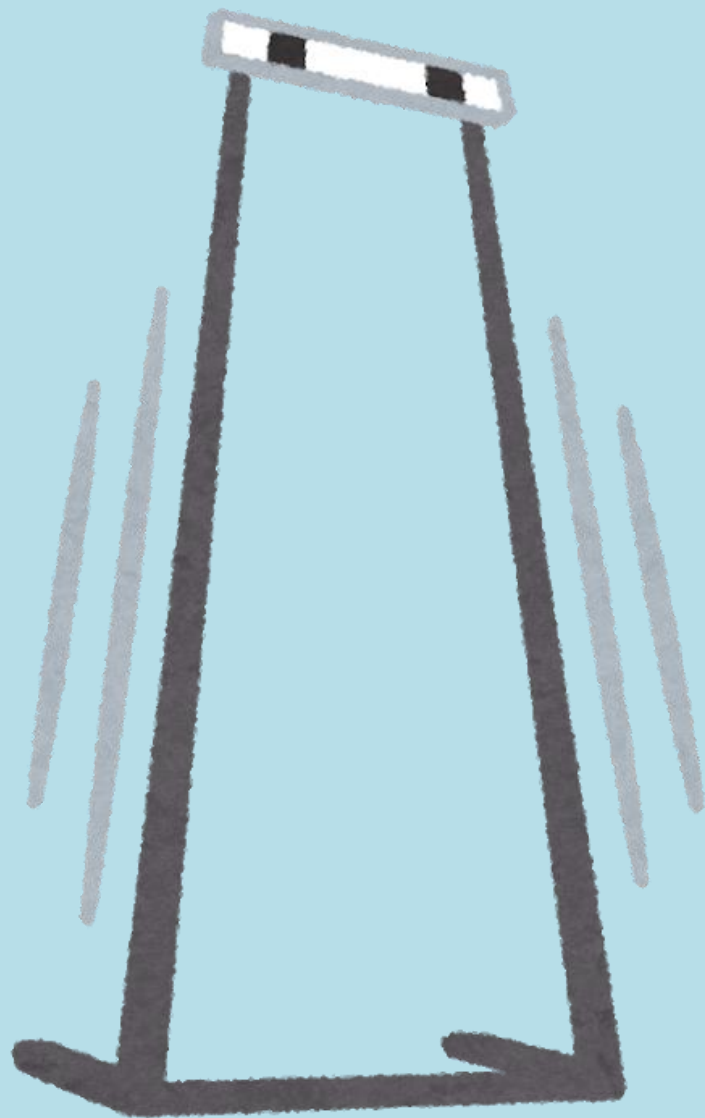
編



組織で働く人間による 不正・事故は止められるのか？

2015年にWGM
ンバーでこのような
書籍を刊行したこと
もありましたが…。

なかなか、
ハードルが高い
テーマです。



なぜなら、

内部不正と
言っても…

こんな感じや…



賄賂・裏金のイラスト

こんな感じの…



粉飾決算のイラスト

組織の不正で
あれば、まだ...

制度・法律などの政府レベル等の決め事により、
ある程度解決できるものも少なくありません。



違反した組織は強制退場させられることで是正される

もちろん…

そうじゃない企業や組織は
いくつもありますが…

そういう組織は、社会的に
ほとんどが淘汰されています

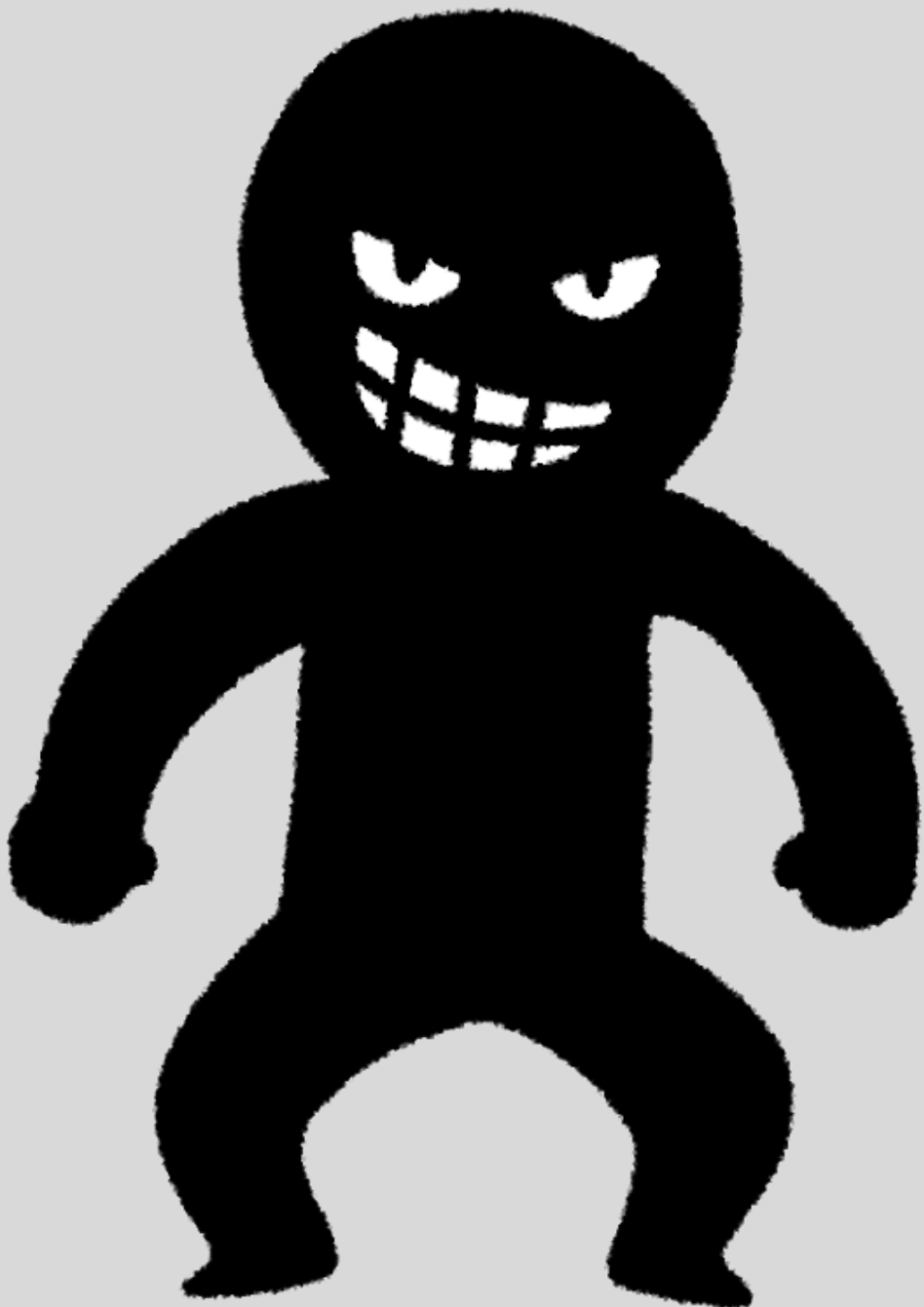
しかし、

内部不正
の中でも

組織を構成する

「個人」の不正

への対策は、さらに
難易度が高い



アダムとイブが禁断の果実を食
べた瞬間から「羞恥心や猜疑心、
自己防衛、怒り、嫉妬、悲しみ
：など、無垢とは反対の感情が
芽生えた。」



キリスト教で言う「原罪」

その他にも…

性善説・性悪説

無くならない犯罪

にんげんだもの

なので...

組織で働く人間が引き起こす
不正・事故対応WVGは！

組織の中の個人（人間そのもの）
に焦点を当てています。



ただ歴史上、人間が犯罪
や悪事を全廃できたこと
は、これまでにありません。



純粋なミス・間違いも
もちろんありますし：



にんげんだもの

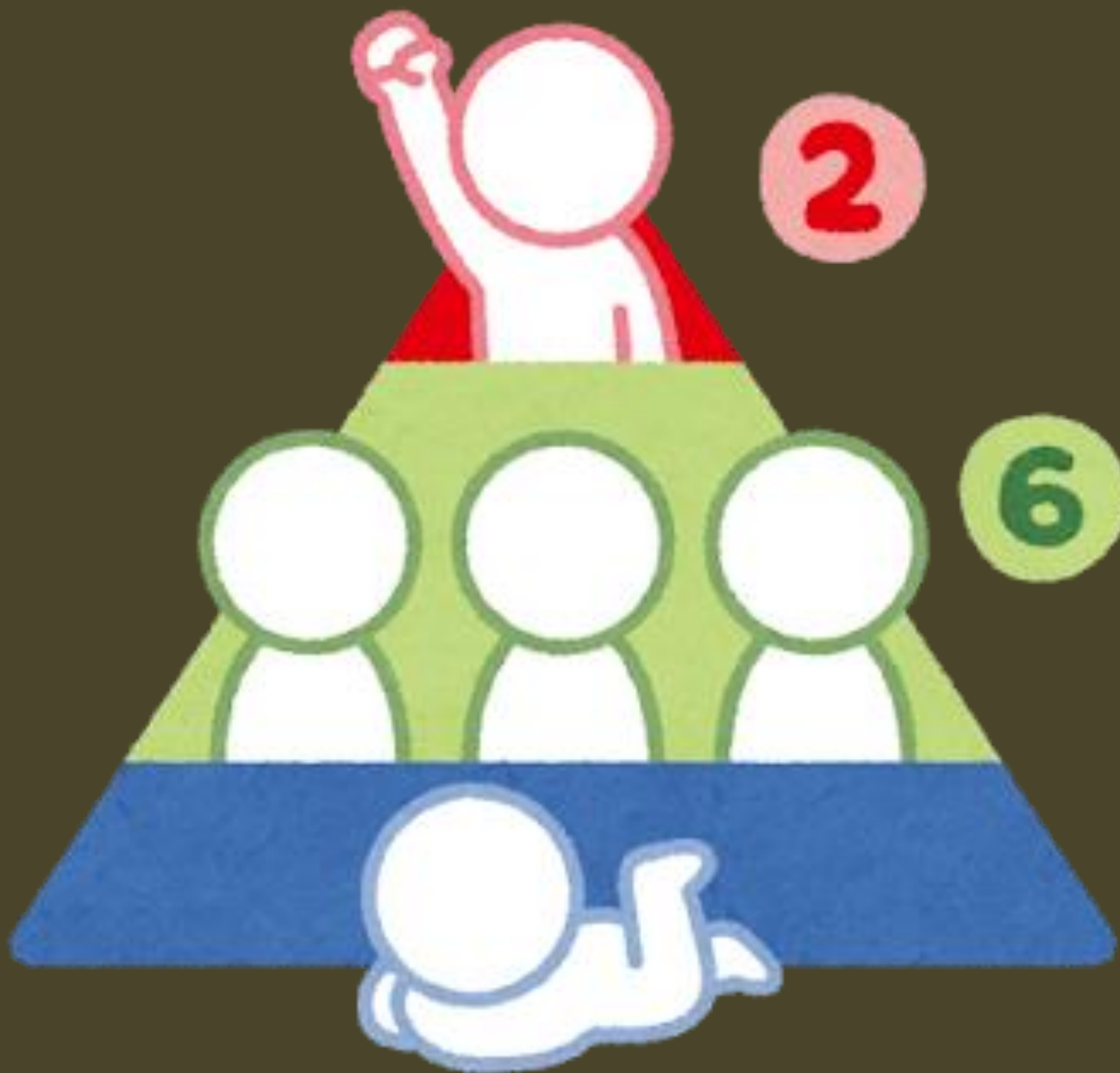


樂をしようとサボって
しまうこともあります。

人生の中で、追い込
まれた状況に陥って
しまった時や…



簡単には説明できない、
人間の「業」みたいな場合
もあります。





そのため

「内部不正対策とは？」

人間がなぜ悪事を働くのかというテーマと同様、
哲学や宗教レベルの難しい問題と言えます。

このことから

組織で働く人
間が引き起こ
す不正・事故
対応WGGでは！

企業が、実施している太陽的な対策を探す！

北 風



太 陽



<webの文章抜粋>

そこで本WGでは、働く人間に起因する事故と、その人間が働いている職場環境との関係性に着目し、自らの職場を「人が生きいきとやりがいを持って働ける環境」、

「従業員満足度の高い環境」 (ES:Employee Satisfaction)

にするために、実際に行われている様々な工夫を掘り起こし、
紹介する活動をはじめました。

世の中でよく見られる「あれはダメ、これもダメ」といったイソップ寓話の「北風の」な対策では、働く人間に起因する事故を本質的に解決するには至りません。内部不正をはじめとする働く人間に起因する事故に関しては、働いている人間のESを向上させ、明朗快活な職場環境を作りだす

「太陽的」な対策こそが、その発生 要因に直接働きかける本質的な対策になり得ます。

【仮説】

組織と従業員の良好な関係
が高い従業員満足度を生み、
それが内部不正を防止する。

という事で

「にんげんだもの」

で思考停止しない企業の方々に色々聴いてみたっ！

13の企業・団体へのインタビュー

- 第13回 **ソニー株式会社**(2019年1月25日)
- 第12回 **アルプス システム インテグレーション株式会社**(2018年10月24日)
- 第11回 **EDGE株式会社**(2018年7月27日)
- 第10回 **株式会社VSN**(2017年10月25日)
- 第09回 **一般社団法人 全国警備業協会**(2017年10月12日)
- 第08回 **サイボウズ株式会社**(2017年6月20日)
- 第07回 **SCSK株式会社**(2017年5月29日)
- 第06回 **大日本印刷株式会社**(2017年3月21日)
- 第05回 **株式会社ガイアックス**(2017年3月1日)
- 第04回 **株式会社日立ソリューションズ**(2016年11月14日)
- 第03回 **日本マイクロソフト株式会社**(2016年10月28日)
- 第02回 **富士通エフ・アイ・ピー株式会社**(2016年10月3日)
- 第01回 **トレンドマイクロ株式会社**(2016年7月27日)



サイボウズ株式会社
ソニー株式会社



アルプス システム インテグレーション株式会社
株式会社ガイアックス



内部不正WGからのお願い

インタビューを受けてくれる企業を大募集！



難しく考えないで良いです。

単なる 自慢話

で構いません！



という
ことで

(前置き・宣伝が完了)



ここからは、実際に
インタビューを行った
WGメンバーによる
ディスカッションです。

会場の皆さんでも、ご意見ある方は
ガンガン議論に参加してください

他社へのインタビューを通して、
どのようなことを感じましたか？

2 / 4

「マネしたい！」「おすすめしたい！」
という人事施策は何かありましたか？

3 / 4

「人事データ」をどのように管理し、
公正・適正な人事評価をすべきか？

※本件、ちょっと唐突なので甘利さんから補足お願いします

Copyright (c) 2000-2019 NIG日本インフラ・エネルギー・協会

4 / 4

WGで議論を続けてきて、内部不正とその対策に関する印象は変わりましたか？

まとめ

(最後に一言ずつ)



A photograph of several people in business suits sitting at a conference table, clapping their hands. The focus is on the hands and the clapping motion, with the faces of the participants blurred in the background. The setting appears to be a professional meeting or presentation.

各社へのインタビューでわかった
“組織事故抑制の観点”からの人事施策

活発な議論、ありがとうございました。